

2019年度帰国生入学試験「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験(芸術学科は小論文)	面接	
	狙い・意図	狙い・意図	専門試験作品利用
日本画			
油画			
版画			
彫刻			
工芸	形態、素材感、色彩感、立体感、空間的な配置、画面構成などの基礎的な描写力を確認する。また、鉛筆デッサンといえども、対象に向き合う際の作者の感動が伝わってくるような画面の雰囲気や表現力も期待する。	なぜ本学の工芸学科を選んだのか、そして何を学びたいのか。将来の展望等について熱意と説得力のある答えを望む。同時に、実技試験を経た感想を話してもらうことで、本人の制作についての考え方や取り組み方を再認識したい。また、面接の受け答えと小論文において、本学での学業を達成するために必要な日本語の能力を確認する。	●
グラフィックデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の意図や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動き、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか 	×
プロダクトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力=問題の把握、理解が適切か ・発想力=アイデアが優れているか ・独創性=他にないアイデアか ・実現力=アイデア具体化方法の知識があるか ・表現力=アイデアが伝わる表現か 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な対話力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか 	×
テキスタイルデザイン			
環境デザイン	環境デザインを学ぶ上で最低限必要な基礎的造形力、および基礎的デッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。	本学科の授業を理解できるだけの日本語能力があるか。多摩美術大学、また本学科で環境デザインを学ぶ意欲、目的意識がはっきりしているか。	×
情報デザイン メディア芸術コース	形式は、伝統的な鉛筆デッサンであったが、見たものを描くだけでなく、目の前に存在しないものを分析的に想像するテーマを加えることによって、デッサンの技術力はもちろんのこと、それに加えて問題文の理解力、分析から生まれる想像力、具体的な大きさを把握する力、そして限られた時間の中で、計画を立てて、出題者の意図が理解できたことが伝わるように解答を制作するプランニング能力などを、総合的に判断することができるような出題とした。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオに基づくプレゼンテーションで、作品のコンセプトや制作過程を自分の言葉で伝えることができるかどうか。 ・実技試験の感想を聞いて、出題意図の要点をどれだけ把握できているかどうか。 ・入学後の関心分野についての質問で、どのような将来ビジョンを持っていたのか。 ・日常会話に支障がないかどうか、日本語の習熟度の確認。 	●
情報デザイン 情報デザインコース			
芸術			
統合デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力=問題の把握・理解が正しいか ・観察力=日常の気付きからアイデアを導きだしているか ・発想力=イメージを具体化するアイデアが優れているか ・描写力=構図、形、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・視点=事象を捉える感覚とその表現が適正で感性に優れているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志望理由が明確であるか ・本学科の内容を理解しているか ・授業に必要な対話力・語学力はあるか ・授業への取り組みの意欲があるか 	×
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース			
演劇舞踊デザイン 劇場美術デザインコース			

全学科共通小論文

- 1) 題:「日本のアニメーション」という題で、あなたの専攻領域を踏まえて800字程度の文章を書きなさい。
- 2) 我が国を代表する文化の一つであるアニメーションにどの程度関心を抱いているかを問い、日本文化への理解、関心の度合いを判断した。
- 3) 我が国に対する興味・関心をどのように抱きながら、当大学で何を学びたいと考えているかという点についても合わせて考慮した。